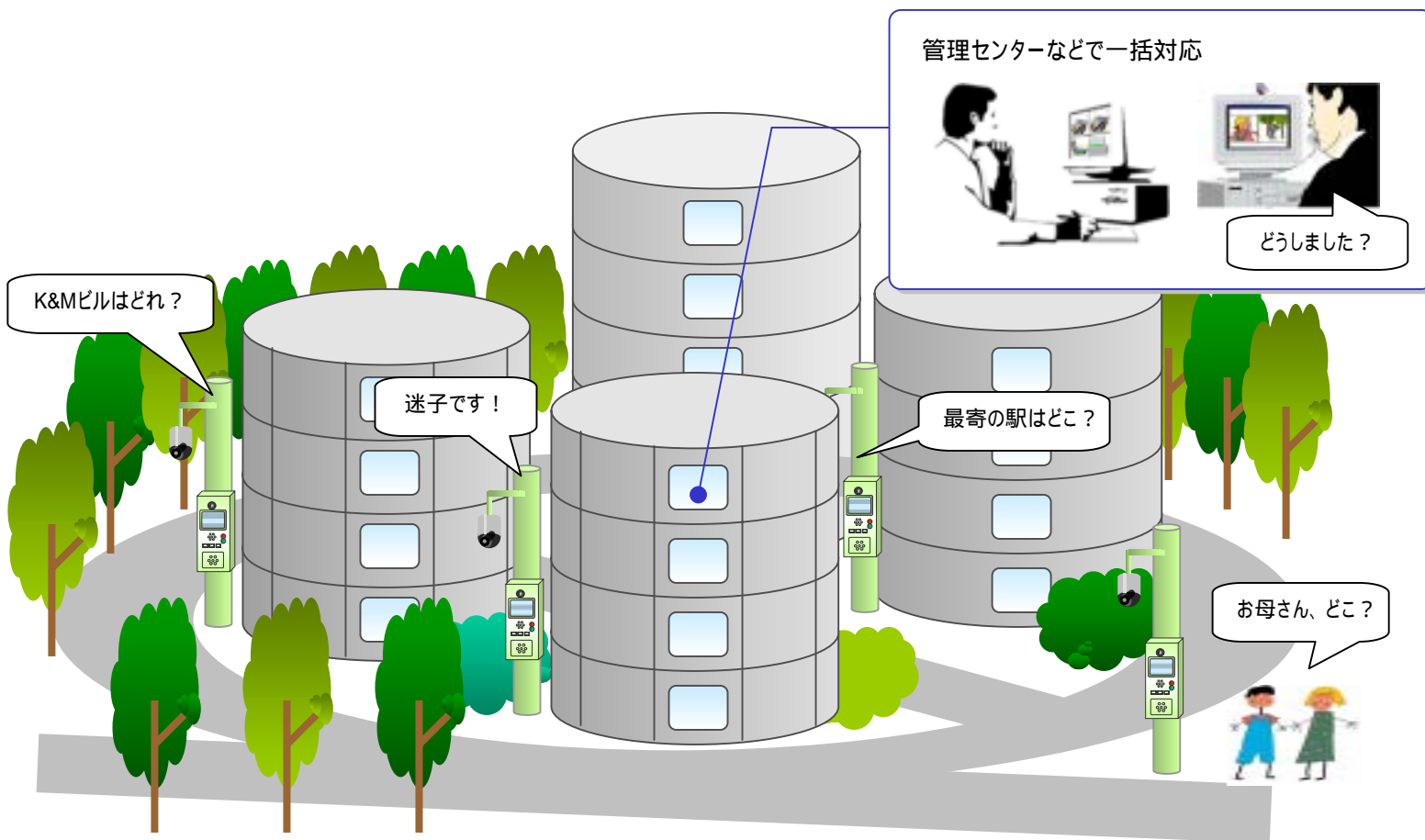


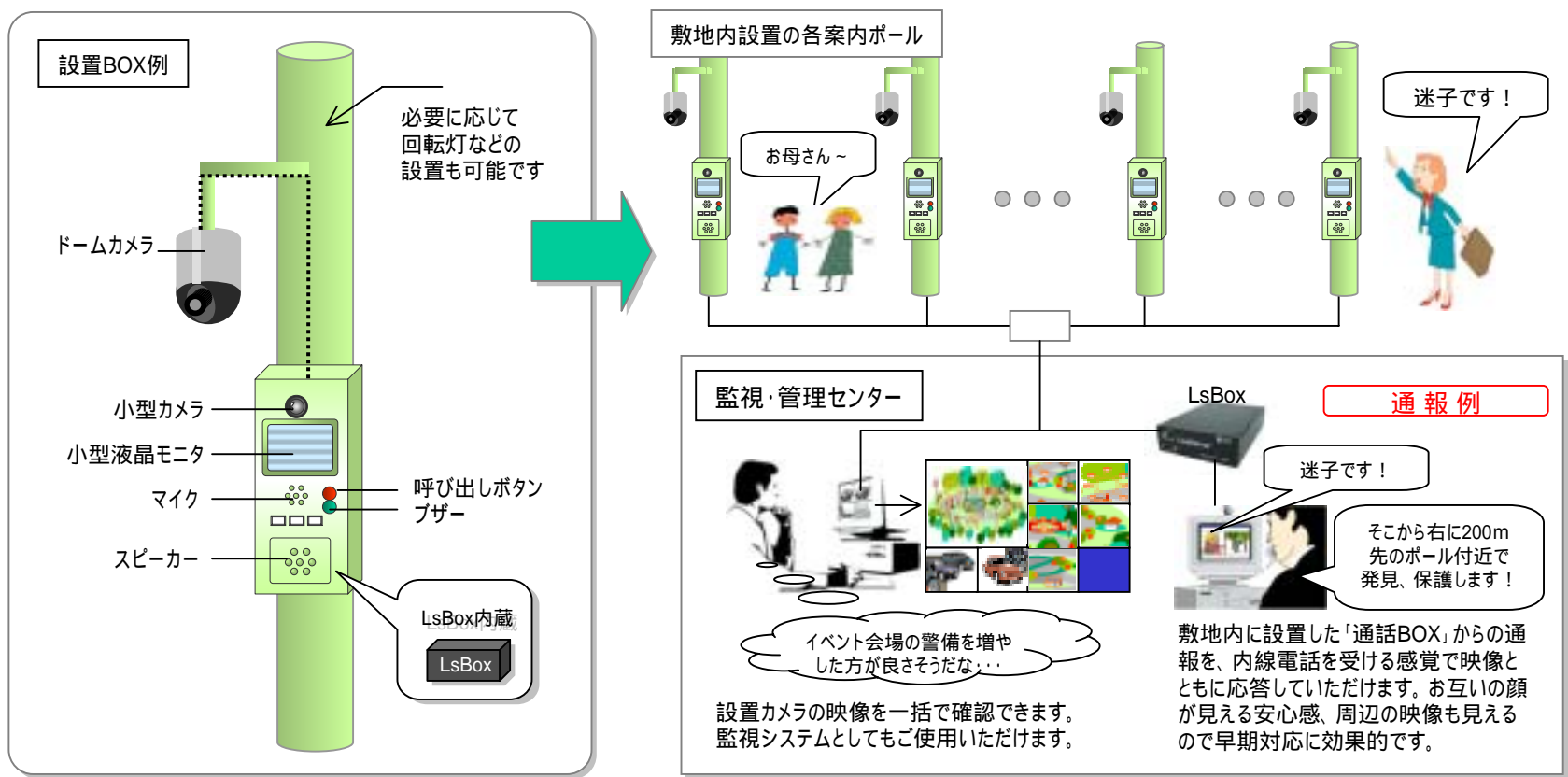
大規模ビル – リアルタイム映像付案内システム

多数箇所からの問い合わせを一箇所から一括してご対応いただけます。



[ご注意]
ここに掲載するLSボックスの応用事例は、既に実施中のもの、提案をしたが実現に至らなかったものなどを含めてユーザー各位がLSボックスの応用を検討するヒントになればと掲載するものです。動作を保証するものではなく、またこれにより実施権を与えるものではありません。

- * 複数箇所の「通話BOX」からの通報を一箇所で集中して対応可能です。
- * 2台の「LsBox」で通信することで映像・音声双方向で通話が可能となり、緊急対応時など効果的に活用いただけます。
- * 実際の映像が見えるので、より正確な状況把握が可能となります。
- * センサーとの連動で異常を検知すると自動的に録画を開始し、警報を発することも可能です。その他、パソコン画面から電子錠のON/OFF、照明の点灯や警報機のスイッチのON/OFFなども制御できます。
- * 独自の圧縮方式：KAMは、MPEG等一般的な画像圧縮技術に比べてデータサイズが大幅に小さく、ファイル転送時の回線負担も軽減できます。また、映像の再生には専用の表示ソフトが必要ですが、セキュリティ面の強化にも役立ちます。
- * 基本操作はパソコンなので、録画した映像の録画・再生・保存が容易です。



これは基本的なシステムであり、建物の構成、施設の規模など、ニーズに合わせたカスタマイズが可能です。